

都道府県建築士会会長様
都道府県建築士会女性委員長（部会長）様

（公社）日本建築士会連合会
女性委員長 石貫 方子

令和 7 年度 第 34 回全国女性建築士連絡協議会（山形）開催ご案内

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、本会の各種事業につき格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、標記会議を下記により開催いたしますので、貴建築士会の女性委員長（部会長）および女性会員にご周知下さいますようお願い申し上げます。

本年は、下記の日程により山形会場での参加とWEB配信によるオンライン参加の形式で開催する運びといたします。

つきましては、ご参加いただく方の氏名等を参加申込書（資料 4）にご記入の上、5 月 30 日（金）午前中までにお申し込みをお願いします。（E-mail:jigyol@kenchikushikai.or.jp）なお、同文書の写しを各女性委員長（部会長）にも直送させていただきますので、その旨ご了承下さい。

敬具

記

1. 開催日時及び開催場所

令和 7 年 7 月 19 日（土） [CPD2]

- ・全国女性委員長（部会長）会議 12:00～13:30

於：山形テルサ 大会議室（会場案内図参照）／ZOOM

※山形会場ご出席の方へ昼食をご用意します。

尚、昼食代 1,200 円を旅費から差し引きますので、不要の方のみお申し出下さい。

－ 令和 7 年度 第 34 回 全国女性建築士連絡協議会（山形）－

- ・受付 13:00～13:45
- ・開会式 13:45～14:15
- ・被災地報告・活動報告 14:15～15:15
- ・休憩 15:15～15:30
- ・基調講演 15:30～17:00

於：山形テルサ テルサホール（会場案内図参照）／ZOOM

〒990-0828 山形県山形市双葉町 1 丁目 2-3 TEL 023-646-6677

- ・大懇親会 18:00～20:30

於：ホテルメトロポリタン山形

〒990-0039 山形県山形市香澄町 1 丁目 1-1 TEL 023-628-1111

令和 7 年 7 月 20 日（日） [CPD2]

- ・分科会 9:00～11:00
- ・全体会 11:15～12:00

於：山形テルサ（会場案内図参照）／ZOOM

2. 開催主旨

テーマ 『山形から発信 みらいへつなぐ木への挑戦』～雪・山・川がおりなす食文化と共に～

山形県は東北地方の日本海側に位置し、県土の約7割を占める森林は、日本一の面積を誇るブナ林など美しい景観を構成し、自然災害を防ぎ、多様な生態系を保全し、豊かな林産物を育んできました。蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日といった日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、その雪解け水は県内の各盆地から平野を縦断する「母なる川」最上川へと流れ、日本海に注ぎます。四季折々の風景や豊かな自然、美味しい食べ物など魅力がいっぱいの地域です。

平成25年11月28日 やまがた里山サミット議長 吉村美栄子山形県知事（山形県歴代初の女性知事）は、「やまがた森林(モリ)ノミクス宣言」を提唱しました。この宣言は、森林に囲まれた里地・里山地域には、豊かな自然に育まれた「食」、「景観」、「文化」、「森林」、「農地」など、先人から受け継いだ地域の豊かな森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として、「緑の循環システム」を構築し、オール山形で林業の振興を図り、地域の活性化に取り組んでいくことです。

私たち建築士は、県産木材の需要拡大に努め、未来の子どもたちにより良い環境をつなぐために地域と共に森と、木と向き合い挑戦していきましょう！

3. 基調講演について 「木造建築の可能性」

講師＜プロフィール＞

◇ 瀬野和弘(セノガヰヒロ)氏／瀬野和広＋設計アトリエ一級建築士事務所

1957年山形県村山市生まれ。東京デザイナー学院卒業後、大成建設設計本部勤務。

1988年瀬野和広＋設計アトリエ設立。住まい方に拘る住まいづくりを中心に、素材重視の木造建築に取り組んでいる。

APDC アジア太平洋デザインセンター名誉理事。

河北メデア学院大学美術設計院（中国）客員教授。日本建築家協会会員。

日本サステナブル建築協会「すまい検討小委員会」委員。やまがた森林(モリ)ノミクス大使。

主な受賞歴／1996, 97年いわきの家設計コンペ連続大賞。

日本建築士会連合会賞作品賞（テインバーヤード）。

2019年JIA環境建築賞優秀賞（もりのしんりょうじょ）。

2020年JIA環境建築賞入選（大工館Ⅱ）など多数。

著書／『これからの木造住宅のつくりかた』エクスナレッジ。『瀬野式・住宅設計エスキス帖』ホーム社など。

◇ 鍋野友哉(ナベトモヤ)氏／鍋野友哉アトリエ/TMYA主宰

東京大学農学部木質科学研究室卒業、同大学院修了。木造建築の構法研究開発に取り組んだ。

河野泰治アトリエ(2005～2014)で河野泰治氏に師事。2014年鍋野友哉アトリエ開設。

2007～2008 東京大学客員研究員、2012～法政大学兼任講師

2015～お茶の水女子大学非常勤講師、2021～東北芸術工科大学非常勤講師

2021～山形大学非常勤講師、2025～東京大学非常勤講師

主な受賞歴／グッドデザイン賞。土木学会デザイン賞。木材活用コンクール優秀賞など多数。

4. 分科会について

7つの分科会を予定しております。それぞれの分科会にて討議し、全体会にて発表を行っていただく流れとなります。分科会には定員がありますので、申し込みが集中した場合、ご希望に添えない場合があります。申し込みの際に希望コースを必ず第2希望までお書きください。

分科会の概要については、資料2を参照してください。各分科会は、後日、連合会女性委員会のホームページ上で動画配信を予定しています。ご参加の叶わなかった分科会はそのらをご利用ください。

5. 参加費用等について

全建女参加費 (資料代含む)	建築士会会員	会場参加	3,000 円
		オンライン	1,500 円
	会員外	会場参加	4,000 円
		オンライン	2,500 円
	学 生	会場・オンライン	無 料
交流会参加費		大懇親会	8,000 円
エクスカージョン		資料 8 をご覧ください。	

開催当日、オンライン接続の状況により受信ができなかった場合も、参加費用の払い戻しはございません。後日、動画配信を予定しておりますのでそちらをご利用ください。

6. 費用負担について

女性委員長（部会長）1 名分の旅費は本会規定の半額を負担させていただきます。

お振込みさせていただきますので、参加申し込みの際に旅費振込先届に記載の上ご返送お願いいたします。但し、旅費の支給は、山形会場にて委員長（部会長）会議にご出席の場合に限ります。

※直前に山形会場での参加が中止になった場合の移動、宿泊に伴うキャンセル料につきましては、各自にてご負担いただきますようお願いいたします。

7. 参加申込について

① 貴会において参加希望者をとりまとめていただき、資料 4 の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、5 月 30 日（金）午前中までに連合会事務局にお申し込みください。

② 「参加申込書」に基づき、貴会参加者の参加分科会名、エクスカージョン参加決定コース、申込者別の参加費用と、貴会参加者全員の参加費用総額を一括した請求書を送付します。同書に記載の口座へ令和 7 年 6 月 20 日（金）までお振込み下さい。

※変更・取消等のご連絡は、6 月 20 日までに直接、日本建築士会連合会にご連絡ください。なお、令和 7 年 6 月 20 日（金）以降の変更・取消に伴う参加費の返還には、応じられませんので、ご了承願います。

8. 宿泊予約について

宿泊予約につきましては、参加者各自にてご準備下さいますようお願い致します。

※直前に山形会場での参加が中止になった場合の移動、宿泊に伴うキャンセル料につきましては、各自にてご負担いただきますようお願いいたします。

9. 託児希望について

託児(生後 6 ヶ月～就学前)ご希望の方は、山形テルサ北隣の「やまぎん県民ホール」内の託児室 (TEL023-664-2220) をご利用下さい。手配は各自でお願いいたします。



10. オンライン参加の URL 送付について

オンライン参加の方への URL 送付は、7 月 15 日（火）を予定しています。

11. 大懇親会について

7 月 19 日（土）の全体会終了後、ホテルメトロポリタン山形に場所を移動して大懇親会を開催いたします。

※ワンバイワンを行います。各ブロックから 1 県程度の活動紹介、近況報告、最近の気になる話題などを報告して頂く予定ですので、是非ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 2. CPD単位の付与について

オンライン参加の方へのCPDの付与については、参加後のアンケートにご回答いただく事により付与させていただきます。

1 3. エクスカーションについて

別紙（資料 8）の注意事項をお読みになりお申込みください。各コースに人数制限がありますので第2希望までお書きください。ご希望に添えない場合もありますので予めご了承ください。

※エクスカーションについても6月20日（金）以降の変更・取消しに伴う参加費の返還には応じられませんのでご了承ください。

1 4. 添付書類

- 資料1 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（山形）プログラム
- 資料2 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（山形）分科会概要一覧
- 資料3 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（山形）開催会場案内図
- 資料4 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（山形）参加申込書
- 資料5 令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（山形）
における全国女性委員長（部会長）会議の開催について
- 資料6 女性委員長（部会長）旅費振込先届
- 資料7 女性委員会（部会）活動報告要旨について（ご依頼）要旨集綴じ込み用
- 資料8 エクスカーションのご案内

以 上

令和 7 年度 第 34 回全国女性建築士連絡協議会（山形） プログラム（案）

「山形から発信 みらいへつなぐ木への挑戦」

～雪・山・川がおりなす食文化と共に～

令和 7 年 7 月 19 日（土）

全国女性委員長（部会長）会議

12：00～13：30 於：山形テルサ 大会議室/ZOOM

令和 7 年度 第 34 回全国女性建築士連絡協議会（山形）

[受付] 13：00～13：45 於：山形テルサ テルサホール/ZOOM

[開会式] 13：45～14：15（30分） 於：山形テルサ テルサホール/ZOOM

- ・開会の辞
- ・主催挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会会長
- ・開催県挨拶 一般社団法人 山形県建築士会会長
- ・委員長挨拶、運営説明 公益社団法人 日本建築士会連合会女性委員長

[被災地報告・活動報告] 14：15～15：15（60分）

- ・山形県北部豪雨災害 被災地からの報告（山形県）
- ・令和 6 年 1 月 能登半島地震・令和 6 年 9 月能登半島豪雨 被災地報告(仮)（石川県）
- ・幻(仮)の『第 1 回建築士のつどい』をやってみた。（福島県）
- ・阪神淡路大震災から 30 年（兵庫県）

= 休憩 15：15～15：30 =

[基調講演] 15：30～17：00（90分）

- ・テーマ 「木造建築の可能性」
- ・講師 瀬野和弘(セノカズヒロ)氏／瀬野和広＋設計アトリエ一級建築士事務所
鍋野友哉(ナベトモヤ)氏／鍋野友哉アトリエ/TMYA 主宰

[全国大会案内] 17：00～17：05（5分）

- ・第 67 回全国大会おおさか大会参加のご案内

= 休憩・移動 17：05～18：00 =

[大懇親会] 18：00～20：30（150分） 於：ホテルメトロポリタン山形

- ・委員会担当副会長挨拶 公益社団法人 日本建築士会連合会副会長
- ・ワンバイワン（北海道・青森・栃木・岐阜・奈良・山口・大分）

令和 7 年 7 月 20 日 (日)

[分科会] 9:00~11:00 (120 分) 於: 山形テルサ 会議室・研修室 / ZOOM

- ・ A 分科会 自分ごととして「避難所運営」を考える。～避難所運営ゲーム(HUG)実施を通じて
司会者: 吉田 幸恵 (北海道建築士会)
コメンター: 金子ゆかり (北海道建築士会)
コメンター: 安谷 潔美 (鳥取県建築士会)
- ・ B 分科会 古民家復権作戦
司会者: 大泉みどり (山形県建築士会)
コメンター: 安井 妙子 (阿部和建築文化研究所)
- ・ C 分科会 ちびっこ『ちょこっとプランニング』
司会者: 萩原 香 (群馬建築士会)
コメンター: 安藤めぐみ (神奈川県建築士会)
- ・ D 分科会 「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」について
司会者: 長瀬八州余 (岐阜県建築士会)
コメンター: 下川 滝美 (岐阜県建築士会)
コメンター: 高野 栄子 (岐阜県建築士会)
- ・ E 分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝える / 林業木材産業との協働の中で
司会者: 畠中 みか (和歌山県建築士会)
コメンター: 須藤 亜紀 (秋田県建築士会)
コメンター: 芦辺 留美 (和歌山県建築士会)
- ・ F 分科会 建築士としての「防災」を今、考える
司会者: 渡辺 睦 (岡山県建築士会)
コメンター: 河原 典子 (神奈川県建築士会)
- ・ G 分科会 伝統と未来をつなぐ古民家再生
司会者: 松田まり子 (沖縄県建築士会)
コメンター: 中野 久美 (群馬建築士会)
コメンター: 近藤 富美 (福岡県建築士会)

= 全体会会場へ移動 11:00~11:15 =

[全体会] 11:15~12:00 (45 分) 於: 山形テルサ テルサホール / ZOOM

- ・ 分科会報告 (3 分×7 分科会) 各分科会司会者
- ・ 全体総評 (3 分) 連合会女性副委員長
- ・ 令和 7 年度第 34 回全国女性建築士連絡協議会アピール (3 分) 連合会女性委員長
- ・ 開催県挨拶 山形県建築士会
- ・ 閉会の辞

[エクスカッション] 12:30~

令和 7 年度 第 34 回全国女性建築士連絡協議会（山形）分科会概要一覧

分科会名称	コメンテーター	概 要
A分科会 自分ごととして「避難所運営」を考える。 ～避難所運営ゲーム (HUG)実施を通じて	金子 ゆかり (北海道建築士会) 安谷 潔美 (鳥取県建築士会)	<p>チームくしろ防災女子の活動(釧路市で女性目線での防災対策に取り組む市民団体)を通じて 避難所での女性がおかれた環境を伝えるとともに避難所の在り方などをお話していただきます。</p> <p>鳥取県：令和 6 年度「防災功労者防災担当大臣受賞」平成 20 年より継続している一般市民への防災思想の普及鳥取県建築士会女性委員会は、平成 12 年の鳥取県西部地震・平成 28 年の鳥取県中部地震の被災経験を活かし、平成 20 年より継続して地域に出向き、避難所運営ゲーム (HUG) や災害図上訓練 (DIG) のワークショップを通じて、幅広い世代・住民を対象に防災知識の普及啓発に取り組んでいる。ワークショップは、時事問題を取り入れたり、動画・効果音・実際の学校図面を用いたりする等の身近に災害をイメージできるよう工夫されており、地域住民の防災思想の普及に大きく貢献している。</p> <p>金子さんからは活動内容を発表していただき 安谷さんからは避難所運営ゲーム (HUG) のワークショップを行いながら 防災意識・避難所運営の課題について考える時間とする。両者が行う地域で避難所運営の差や重きを置くポイントなども学んでいきます。</p>
B分科会 古民家復権作戦	安井 妙子 (阿部和建築文化研究所主幹研究員) 元宮城県建築士会女性部会長	<p>30 年前から高断熱高気密構造補強を施した古民家 30 数棟の設計監理をして作品は雑誌や TV で紹介され、日本建築学会東北支部にて顕彰もされました。うち 6 件が登録文化財になり、次世代に引き継がれています。2000 年に寒くない古民家集『古民家復権』を、『修理工事報告書』は現在までに 16 冊出版し、大学 2 カ所で教育にも携わりました。</p> <p>近年、宮城県建築士会女性部会とのコラボで、ZOOM にて年間 4 回「語ろう学ぼう木の建築講座」を配信しており、2025 年 4 月で 13 回目を数え、これからも継続いたします。</p> <p>当分科会では、古民家の品格を損なう事なく、美しさを復権する「寒くない古民家修復」をご理解のうえ、一人でも多くの方に取り組んでいただきたく、惜しみなく断熱気密手法を開示します。文化財登録までの多事多難も丸っと伝えます。</p>

<p>C分科会 ちびっこ『ちよこっと プランニング』</p>	<p>安藤 めぐみ (神奈川県建築士会)</p>	<p>「はまっこスクール」の職業体験としてスタートした「ちよこっとプランニング」は、関東甲信越ブロックでも関心が高く、他県でもアレンジした企画で実施されています。</p> <p>令和6年度は、横浜市役所内で開催された「よこはま建築ひろば」において、小学4年生から中学生を対象に開催しました。</p> <p>外壁ラインを設定した図面に、誰とどのように住むのか想像しながら家具をレイアウトし、間仕切りや扉を記入していく手法をとっています。家具などは、シールを利用することで、何度も検討を重ね変更しながら仕上げていきます。ある程度並べることでスケール感のある見栄えの良い図面が完成される住宅の設計体験です。</p> <p>リアルな体験から建築を学ぶ機会になっています。</p>
<p>D分科会 「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」について</p>	<p>下川 滝美 (岐阜県建築士会) 高野 栄子 (岐阜県建築士会)</p>	<p>岐阜県ではまちづくり委員会の福祉まちづくり部会が中心になり、「福まち建築士」という制度があります。その「福まち建築士」が5年前から自治体からの業務委託を受けて活動している「介護保険制度における住宅改修の適正化に関する業務」についてお話しします。</p> <p>住宅改修を申請する際に確認用に作成したチェックリストについて制作した理由、その過程、運用状況や問題点などがわかってきました。</p> <p>介護保険による住宅改修は小規模で出来る内容が限られているので、工事内容は限定されます。</p> <p>そこで同じ様な内容の工事に当てはまる一般的な内容で各種チェックリストを作成し、申請者に事前確認して頂く仕組みを整え、今年度から運用しております。</p> <p>介護保険の趣旨と保険を適用する住宅改修の内容、いろいろな事例について積み重ねてきたデータを元に活動内容をお話しします。また介護保険における住宅改修はその地域の慣習や利用者の身体状況、住宅の状況により異なる「保険者判断」という特徴もあります。クイズ形式で各地域から集まっているみなさんの「保険者判断」について情報交換したいと思います。</p>
<p>E分科会 建築士の役割を一般の方にわかりやすく伝える／林業木材産業との協働の中で</p>	<p>須藤 亜紀 (秋田県建築士会) 芦辺 留美 (和歌山県建築士会)</p>	<p>建築士という資格についての知名度は高い一方で、実際の仕事(社会の中での役割)についての認知度は低いと感じる方も多いのでは無いでしょうか?でも建築士の仕事をわかりやすく説明するのは難しく、難しいながらも理解してもらおう事は、建築という社会への影響が大きい行為に対する理解を深める事にも繋がる大事な事であると思います。</p>

		<p>そこで秋田市の金足農業高校にて行われた出前講座で「建築士の仕事」についてお話された経験のある須藤様と、木工製品を利用して木育活動をしている和歌山県建築士会女性委員会に活動報告をして頂き、建築士の基本的な役割を説明するポイントや方法について考えたいと思います。また普段から活動にご協力頂いている林業木材産業の方からも、木育活動等についてお話頂く予定です。木育活動で利用している木工製品の組み立ても交えながら、皆でアイデアを出し合える楽しく有意義な分科会にしたいと思います。</p>
F分科会 建築士としての「防災」を今、考える	河原 典子 (神奈川県建築士会)	<p>令和元年東日本台風（台風 19 号）時、自宅が床上浸水の被害に遭いながら、近隣被災住宅複数件の復旧・再建支援に奔走。その後、神奈川県建築士会防災・災害対策委員会として、防災減災、災害対応に取り組んでいる現副委員長の河原典子氏より、「防災減災」がより自分ごとになるポイントを紹介いただきながら、令和 6 年 11 月に実施された「ハテナからはじまる・みんなの防災ワークショップ【建築士として、災害対応を考える】」の導入と一部のワークを共に体験します。</p> <p>昨今は、地震や水害など様々な災害が頻発し、災害対策は待ったなしの状況です。「あの時こうしておけばよかった」と言わずに済むように、建築士に求められる社会的役割、建築主の不安や地域の災害リスク状況に応えられる建築士とは？その意識や、今、すべき備えについて、分科会参加者と模索し、考えます。</p>
G分科会 伝統と未来をつなぐ古民家再生	A：中野 久美 (群馬建築士会) B：近藤 富美 (福岡県建築士会)	<p>A：日本の古民家は地域に合った暮らしの知恵や、歴史を語る事ができる建物ですが、現在の暮らし方や維持管理等の諸問題により、解体されるケースも少なくありません。</p> <p>実際に古民家を購入・再生し、これから古民家を再生させる方の参考や相談、またその意義や地域性について再考する場としたいと考えています。</p> <p>B：福岡県うきは市に、古民家体験型ショールームも併設された”一級建築士事務所やどり木”があります。</p> <p>古民家をコンバージョンやリノベーションしながら、古民家の持つ新たな魅力を引き出す取組みを行なっています。</p> <p>またその他、古民家をホテルにコンバージョンした実例では、法律も含めて古民家活用時の設計手法をご紹介します。</p>

令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会（山形） 開催会場案内図

7月19日（土）

- ・全国女性委員長（部会長）会議 12:00～13:30 山形テルサ 大会議室
- ・令和7年度 第34回全国女性建築士連絡協議会 13:45～17:00 山形テルサ テルサホール
- ・大懇親会 18:00～20:00 ホテルメトロポリタン山形

7月20日（日）

- ・分科会 9:00～11:00 山形テルサ 会議室・研修室・交流室(会場は後日決定)
- ・全体会 11:15～12:00 山形テルサ テルサホール



← 山形テルサ周辺駐車場
無料駐車場はありませんので
近隣有料駐車場をご利用下さい。

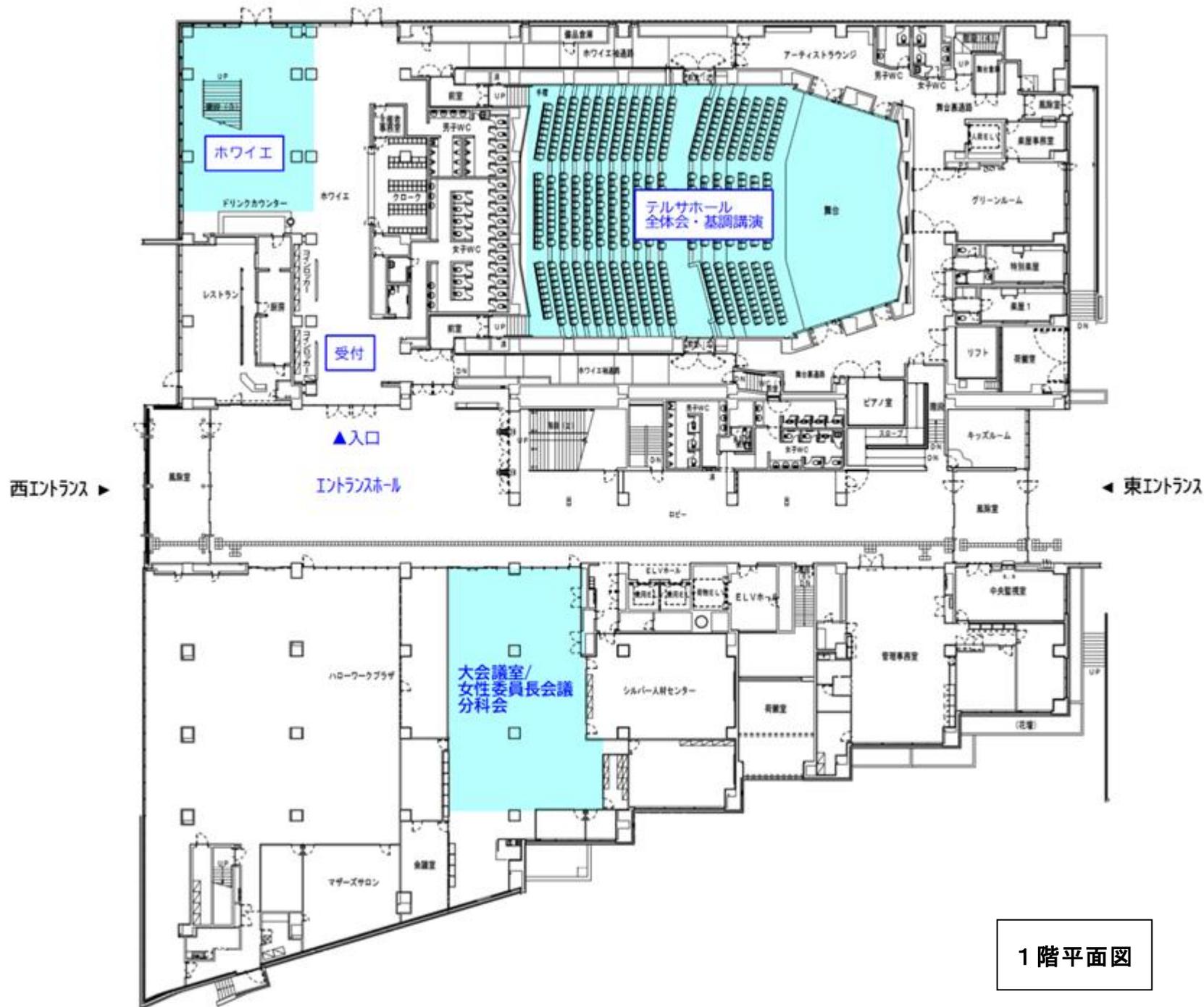
山形テルサ Google マップ

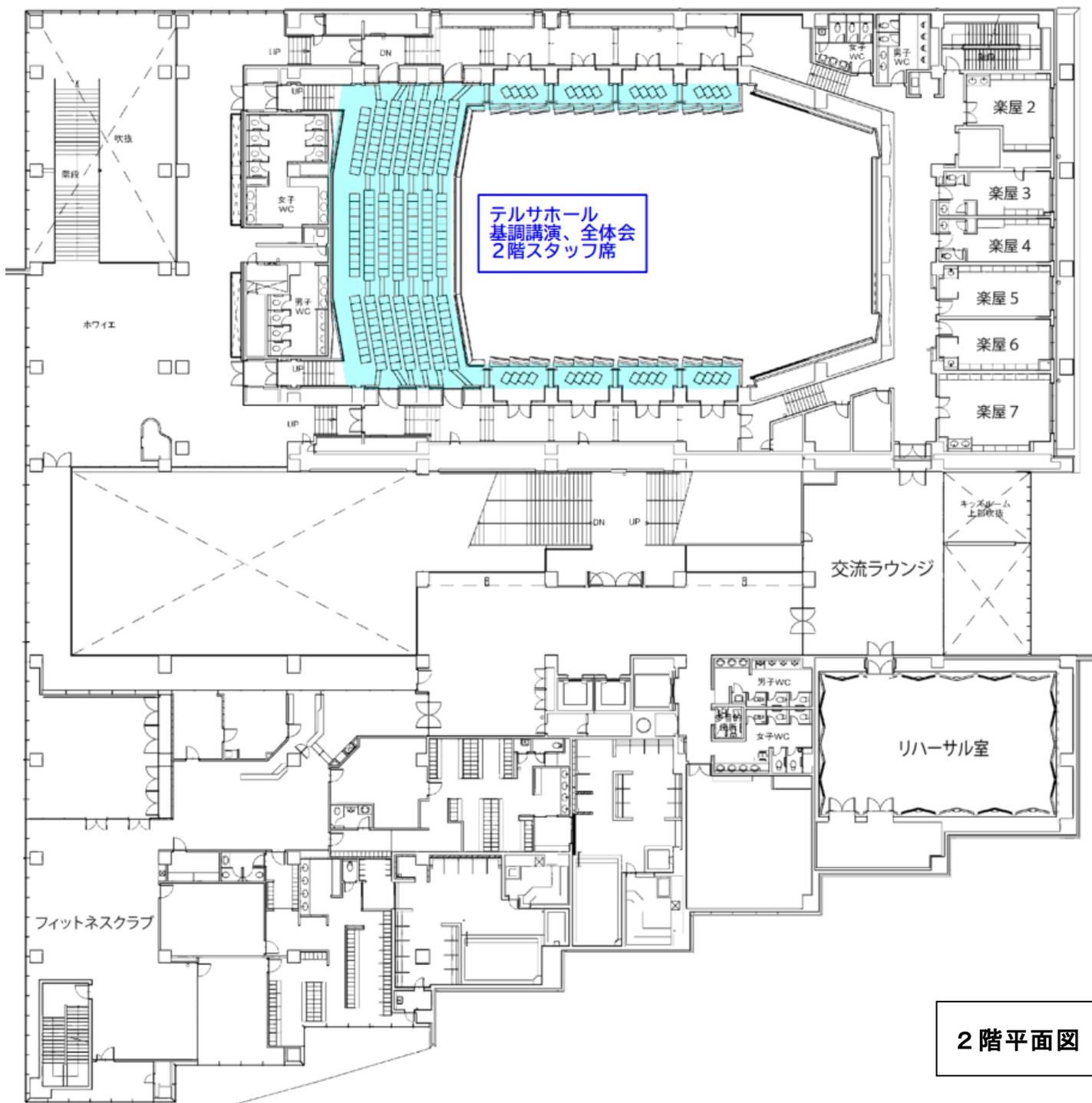


大懇親会会場

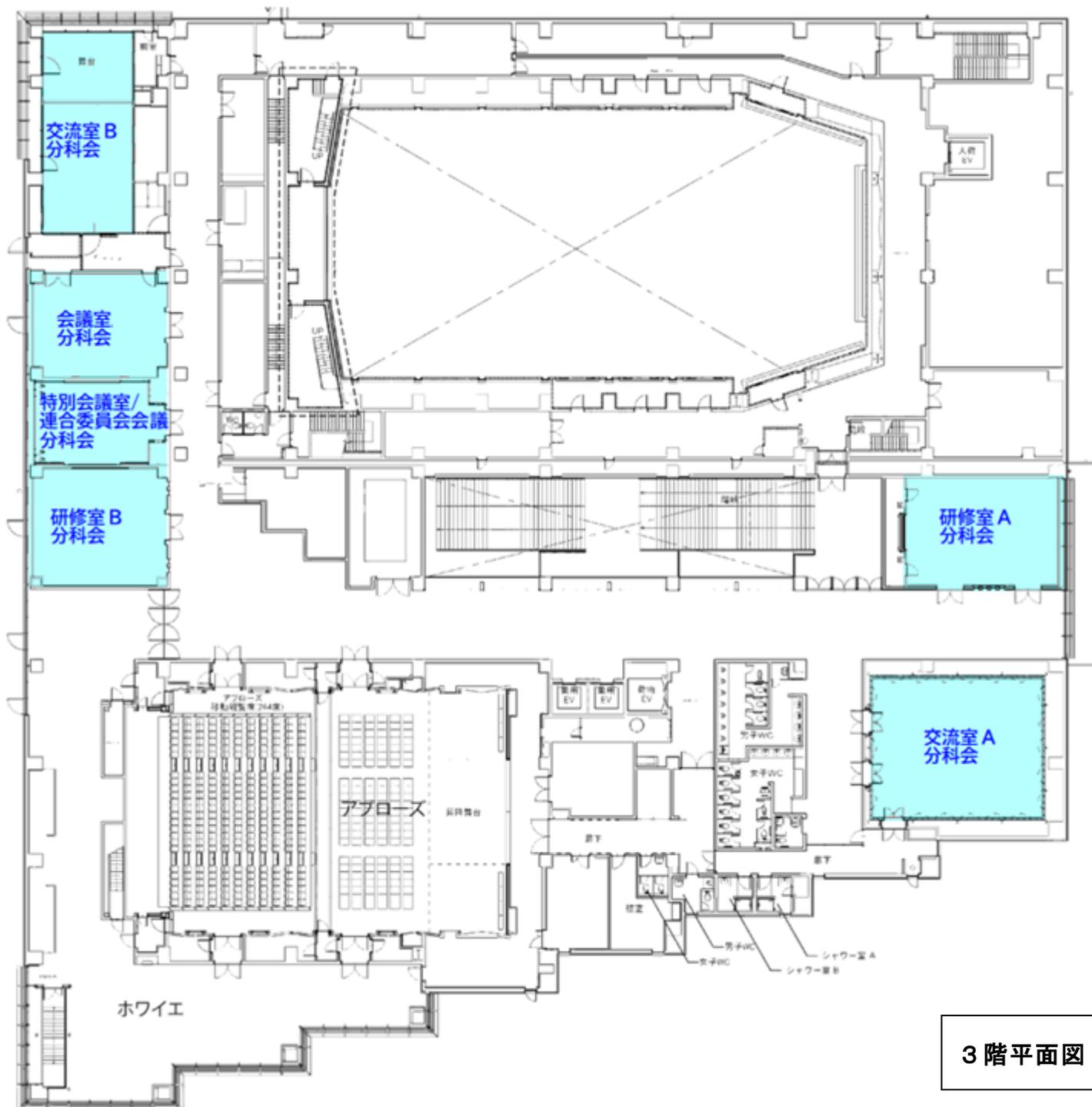


← JR 山形駅からのアクセス
経路：自由通路「アピカ」 徒歩 10分
会場入り口は東西2ヶ所にあります。





2階平面図



3階平面図

エクスカーションのご案内

2025年7月20日(日)

A 文翔館とコパル見学コース

CPD単位 2
参加費5,500円 定員30名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発
- 12:45 紅の蔵 そば処 三百坊【滞在時間1時間30分】
- 14:20 文翔館【滞在時間1時間15分】
- 15:50 児童遊戯施設コパル【滞在時間1時間】
- 17:10 JR 山形駅(西口)着



シェルター
インクルーシブ
プレイスコパル
/第34回榊野藤吾賞
2023年日本建築
学会賞(作品)
第64回BCS賞
他多数受賞

紅花商人だった長谷川家所有の蔵屋敷「紅の蔵」で昼食、敷地内のおみやげ処や地域直売所を堪能いただけます。その後、大正ロマンたっぷりの文翔館へ。1984年に国の重要文化財に指定され、1986年から10年の歳月をかけて当日の工法を元に忠実に復元が行われました。“ろうろに剣心”や“賭けグルイ”のロケ地にもなっています。

バス移動し、大西麻貴+百田有希/oh設計のシェルターインクルーシブプレイスコパル(山形市南部児童遊戯施設)へ。「インクルーシブ施設」の解説を交えての見学です。明治、大正、令和の建物をお楽しみ下さい。

国指定重要文化財 文翔館



B 羽州街道をめぐる上山コース

CPD単位 2
参加費6,000円 定員30名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発
- 13:10 檐下宿 丹野こんにやく【滞在時間1時間30分】
- 14:45 檐下宿見学【滞在時間2時間】
- 17:20 JR 山形駅(西口)着



檐下宿 大黒屋

江戸時代、参勤交代の宿場として栄えた羽州街道 檐下宿。地域住民により、当時の町並みが大切に保存されています。貴重な茅葺屋根の保存や、宿場にふさわしい景観づくりなど、檐下宿にこだわった活動を「檐下宿保存会」のガイドで散策します。昼食は、こんにやく懐石をご用意しました。全部食べても低カロリー！これもこんにやく？と驚いてください♪

こんにやく懐石



C 慈恩寺散策と道の駅 寒河江コース

CPD単位 3
参加費6,000円 定員30名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発
- 13:10 道の駅 寒河江 チェリーランド【滞在時間1時間】
クラッピンさがえ見学【滞在時間30分】
- 15:00 慈恩寺散策【滞在時間90分】
慈恩寺テラス見学【滞在時間30分】
- 18:00 JR 山形駅(西口)着



さくらんぼ
こどもキャンパス
CLAAPIN
SAGAE
(クラッピンさがえ)

道の駅 寒河江 チェリーランドにて山形の郷土料理「芋煮御前」をお召し上がりいただいた後、2024年にオープンした株式会社 羽田設計事務所+株式会社 NIIZEKI STUDIO設計のさくらんぼこどもキャンパスCLAAPIN SAGAE(クラッピンさがえ)をご覧ください。

慈恩寺では、本堂周辺をガイド付きで散策します。再建から400年といわれる国指定重要文化財の本堂は、約70年ぶりの茅葺屋根の全面葺き替え等の修理工事を完了しました。工事完了を記念し11年ぶりに御本尊を御開帳いたします。生まれ変わった美しい姿をご覧ください。

国史跡慈恩寺パンフレットはこちらから→



慈恩寺本堂

D 「将棋の書き駒・紅花染め体験」と 「天童木工本社ショールーム見学」コース

CPD単位 2
参加費8,000円 定員40名

スケジュール

- 12:30 山形テルサ発 バス移動【所要時間60分】
昼食 山形まるごと弁当
- 13:30 天童市ターミナルビル「バルテ」
「将棋の書き駒体験」または「紅花染め体験」【体験時間90分】
- 15:30 天童木工「ショールーム見学」【所要時間90分】
- 17:30 J.R.山形駅(西口)着

スカーフの紅花染め「天童紅花祭り」



天童木工本社ショールーム



将棋の駒にオリジナルの文字を描く書き駒と、天然染料を使ったスカーフの紅花染めのワークショップを開催(どちらか一つを選択)。地元で活躍する女性クリエイターを講師に迎え、山形の伝統文化を体験します。その後、世界的な家具メーカー「天童木工」にて、歴史やデザイン、最新技術についてお話を伺い名高い家具から素材の見本まで一堂に揃った本社ショールームを見学します。※昼食は、つや姫ご飯に山形牛、在来野菜の里芋などを使った地産地消のお弁当です。



書き駒体験

E 本館 古勢起屋(登録有形文化財)見学と 银山温泉宿泊コース

CPD単位 2
参加費4,000円(宿泊費は下記参照)定員46名

スケジュール

- 12:20 山形テルサ発
(他コースよりも早い出発になります。)
車窓から 七日町御殿、文翔館 等
- 13:00 昼食 白鳥十郎邸(本舗(河北町))
冷たい肉蕎麦+餅1個
(きなこor小豆餡or納豆)
秘密のケミショー極みで紹介された
B級グルメをご堪能ください
- 13:45 移動
- 15:00 银山温泉入り口到着、チェックイン
自由時間
本館古勢起屋館内見学
温泉街銀坑道散策等 (QRコード参照)
- 18:00 夕食
- 7/21(月)
- 10:00 チェックアウト

◆本館古勢起屋(定員1室2名、14室28名限定)※全館禁煙
令和5年8月に登録有形文化財に指定された当館をお楽しみ下さい。

- ・川側客室(大正モダン客室6室・和室2室)
2名様1室ご利用 お一人様@39,750円
- ・山側客室(大正モダン客室6室)
2名様1室ご利用 お一人様@37,550円

Eコース申し込み
QRコード→

(5月30日午前中まで切厳守)



◆银山荘

※银山荘は4階に喫煙スペースがあります

- ・ベッドルーム定員2名3室 2名様1室ご利用(半露天風呂付)
お一人様@38,650円
- ・和室(10帖) 定員6名2室 6名様1室ご利用 お一人様@25,450円

○いずれの価格も消費税と入湯税込です。宿泊費は各自現地でお支払いください。お部屋の希望を取りますが、申し込み多数の場合は抽選とさせていただきますので、ご希望に添えない場合はご了承下さい。なお同室希望の方がいよいよ備考にお書き下さい。

○チェックアウト(10:00)後は、JR山形新幹線大石田駅まで時間指定(10:30と12:30の2本のみ)の無料送迎バスがありますが、それ以外は市営バス¥1,000となりますのでご注意ください。

*Eコース申込の方は、必ず右上のQRコードから質問にご回答ください。

银山温泉ウォーキングコース
所要時間 90分 中級コース



撮影/建築カメラマン長岡信也



本館古勢起屋HPより

ご注意とお願い

- *各コース共、山形テルサ正面玄関からの出発となります。
- *参加ご希望の方は、全建女参加申込書の「エクスカーション」欄に希望のコースを第2希望までご記入ください。
- *参加費は事前振り込みとなります。コース決定後、お振込みの案内をいたします。お振込みいただいた参加費は、返金いたしかねますのでご了承ください。
- *動きやすい服装、靴にて参加をお願いします。また、帽子等の暑さ、日差し対策をよろしくお願ひいたします。
- *エクスカーション参加者のお荷物は、山形テルサにエクスカーション終了までお預かりも可能です。ただし、貴重品は各自お持ちください。
- *道路混雑状況により帰着場所への到着が遅れる場合があります。
- *介助が必要な方、幼児同伴の方は、申込書備考欄に記載お願ひします。コースによっては参加が難しいものもありますので、後日ご相談させていただく場合があります。
- *申し込みの締切は5月30日午前中となります。